

# 防ごう 子どもの虐待

## 日常の子育てから考える



上映時間25分 **字幕版付き**  
DVD 本体価格 66,000円(税抜)  
[C#3540]

**監修** 社会福祉法人 子どもの虐待防止センター 理事 片倉 昭子

# 防ごう 高齢者虐待

## 日常の介護から考える



上映時間28分 **字幕版付き**  
DVD 本体価格 66,000円(税抜)  
[C#3541]

**監修** 認知症介護研究・研修仙台センター センター長 加藤 伸司



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17  
<http://www.toei.co.jp/edu/>

# 防ごう 子どもの虐待 日常の子育てから考える

## 企画 意図

子どもの虐待が深刻な社会問題となっています。虐待というと、子どもを殺しかねないような激しい暴力を思い浮かべがちですが、必ずしもそういう行為ばかりを指すわけではありません。私たちの日常の中で、不適切な子育てを繰り返せば虐待になりうるのです。虐待の芽は日常生活の中に潜んでおり、誰もが虐待の当事者になる可能性があるともいえます。そのような観点から本作品では、ドラマと監修の片倉昭子さんの解説を通して、日常の子育ての中で起こしがちな問題点を示し、虐待を防ぐために私たちができることを描いていきます。

### ① 叩いてしまったことはありますか？

今井恵は、共働きで一人息子の翔太を育てている。熱を出した翔太の看病のため会社を休む恵に、上司の鈴木は渋々承諾する。仕事の忙しさや夫の無理解にも苛立っていた恵は、言うことを聞かない息子に対して、思わず手を上げてしまう。



### ② 親の価値観を押し付けていませんか？

鈴木の実、真由美は、娘の美咲の中学受験の準備に躍起になっている。美咲が学校のテストでどれだけ良い点をとっても、「もっと上を目指さないとダメ」と言い、友達とも遊ばせない。娘の子育てをめくり、鈴木と真由美の口論も絶えない中、美咲は体調をくずしてしまう。



### ③ 虐待を防ぐためにできること

恵は通勤途中で、女性の怒鳴り声と子どもの泣き声を聞いてしまう。虐待ではないかと、鈴木にも相談した恵は、児童相談所に通告する。通告をきっかけに、恵は地域の子育て支援センターに通うことになり、子育ては一人で抱え込まないことが大切だと実感していく…。

# 防ごう 高齢者虐待 日常の介護から考える

## 企画 意図

高齢化の進む現代社会において、親や年老いた夫・妻の介護は、多くの人にとって避けて通れない問題となっています。思い通りにならず、弱い立場の高齢者を心ならずも虐待してしまうことは、誰にでも起こりうるかもしれません。本作品では、働きながら認知症の親の介護をしている2つの事例を、老老介護の話も含めドラマで描いていきます。どのような場面で虐待をしそうになるか示すことで、視聴者が虐待発生を未然に防ぐにはどうすればいいかを考え、理解できることを目的に制作しています。

### ① 妻の介護をする夫の場合 老老介護の現場から

山田直美の母、幸子は認知症を患っており、幸子の夫、勇が在宅介護をしている。会社で働いている直美のもとに、ケアマネジャーの安住から連絡がきた。勇が幸子に暴力をふるっているかもしれないというのだ。直美が勇に事情を聞いて、見えてきたのは…。



### ② 母を介護する娘の場合 認知症介護の現場から

勇の負担を減らそうと、幸子の介護を手伝う直美。しかし認知症が病気だとわかっていても、苛立ちからつい暴言をはいてしまう。

### ③ 母の介護をする息子の場合 介護と仕事の間で

直美の後輩、小林哲也は独身で働きながら、認知症の母、和子と同居をしている。深夜に頻りに息子を呼ぶ母親に振り回され、哲也は睡眠もままならず、仕事にも悪影響が出る。ある夜、突然買い物に出かけようとする和子を抑えようと、もみ合っているうちに、哲也は和子に手を上げてしまう。



### ④ 高齢者虐待を起こさないために

直美と哲也が訪れたのは地域包括支援センター。直美は介護の悩みや相談があるとここを訪れ、色々と助けられてきた。この日は高齢者を介護している家族の会が行われており、みんな楽しそうに話をしている。家族の会で語り合う中、直美と哲也は、新たに介護に向きあう思いを抱いていく…。